

2023年12月11日

各 位

会社名	フュージョン株式会社
代表者名	代表取締役社長 佐々木 卓也
	コード番号：3977 札幌アンビシャス
問合せ先	専務取締役 安田 真
	(TEL. 011-271-8055)

ChatGPT/生成系A Iを活用したマーケティング/D X支援の開始について

当社は、資本業務提携関係にある北大発ベンチャー認定A I企業の株式会社調和技研（本社：札幌市、代表取締役 中村拓哉、以下「調和技研」といいます。）と、マーケティング領域でのA I活用について連携を強化してきたところですが、今般 ChatGPT に代表される生成系A Iを活用したマーケティング/D X支援サービスの提供を開始することをお知らせいたします。

記

1. 本取組の背景と目的

調和技研は、北大発ベンチャー認定制度の公認企業として、「画像系」「言語系」「数値系」の3領域における独自のA Iエンジンを用いた高度なソリューションの提供や、A Iを活用した社会に役立つ製品・サービスを開発する国内有数のA I事業者です。

一方当社は、CRM支援・サービス運営支援・教育支援の3つの分野から成る総合マーケティング支援企業であり、企業と顧客や消費者とのマーケティングコミュニケーションをサポートしております。

当社と調和技研とは、2017年10月に資本業務提携契約を締結し、主にA Iの活用やデータ分析の領域で相互補完や協業を推進してきました。

調和技研の持つChatGPT/LLM導入支援ノウハウと、当社の持つマーケティングやD X支援ノウハウを掛け合わせるにより、クライアント企業の課題解決や生産性向上に大きく貢献出来ると判断し、今般の取組み開始に至ります。

2. サービスの概要

(1) 対象企業

- ・安全性を担保した上でマーケティング業務の高度化やD X推進にChatGPT/LLMを導入したいが、どうすればよいのか分からない企業
- ・ChatGPT/LLMを既存のマーケティングシステム等と連携し、業務効率化や生産性向上を実現したい企業
- ・社内の大量のドキュメントとWeb検索の併用や、ChatGPT/LLM経由で他のA IやCRMシステム利用を行うなど、自社の業務内容や目的に合わせて機能をカスタマイズしたい企業

(2) 今後の予定

多くのメディアは ChatGPT の登場が「ビジネスシーンのみならずあらゆる生活シーンに劇的な変化をもたらす」と喧伝しますが、その一方で当社のクライアント企業の担当者様たちからは「業務にどう活用したらよいかわからない」「社内データを投入できない」と生の声が寄せられます。GPTs の発表等、進化が速すぎることに加えて自社データが学習に使われるリスクから、ChatGPT/LLM の企業内での活用は今一歩と言えます。そのため、ChatGPT/LLM を活用してのマーケティング/D X の高度化には多くの可能性があり、それらを実現することでクライアント企業の課題解決に貢献出来る余地があります。

例えば、これまでに蓄積してきたマーケティング成功事例から適時に新たな提案書の素案を作成することや、社内の企画書データを参照して消費者の心に響く販促コピーを自動的に作成する、といったソリューションが考えられます。

当社はマーケティング領域を中心に、クライアント企業の課題抽出や戦略立案といったコンサルティングに強みを持つため、今後のコンサルサービスでの活動を通じて本件サービスの提案や案件化に注力し、調和技研と連携して課題解決に貢献してまいります。

【株式会社調和技研 会社概要】

会 社 名	株式会社調和技研
代 表 者 名	代表取締役社長 中村 拓哉
所 在 地	北海道札幌市北区北 21 条西 12 丁目 2 北大ビジネススプリング 305 号室
事業内容	A I 導入コンサル、A I 研究開発・実装・運用、 A I エンジンの提供、人材育成
設 立	2009 年 11 月 4 日
会社ホームページ	https://www.chowagiken.co.jp/

《本リリースについてのお問い合わせ先》

フュージョン株式会社 コーポレート部門

TEL : 011-271-8055 【対応時間】 9 : 00~18 : 00 (土日祝休)

URL : <https://www.fusion.co.jp/contact/>

以 上